

さかいまち 議会だより

No. 206

令和5年
11月1日発行



ハワイ州ホノルル市代表団来町歓迎会



目次

- ◆第3回定例会議決事項 P.2～P.5
- ◆一般質問 P.5～P.7
- ◆第2回臨時会議決事項 P.8
- ◆議会活動 P.8



第36回利根川大花火大会が開催されました

令和5年第3回定例会

9月4日～9月8日（5日間の会期）

全議案・原案可決

令和5年第3回定例会におきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられたことに伴い、一般質問の一人当たりの持ち時間を通常の最大60分で行い、傍聴に關しても人数制限なしで実施させていただきました。

住民の皆様には、ご理解ご協力を賜り、改めて深く感謝申し上げます。



決算特別委員会を進行する
渡邊 昇 委員長

決算特別委員会報告

9月4日開会初日、本会議に提案された令和4年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月6日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月8日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。

監査委員決算審査報告

5月24日(水)・8月28日(月)に、令和4年度境町一般会計及び特別会計7件並びに水道事業会計の審査を行い、その結果について山本監査委員より次のとおり報告がありました。

○一般会計

歳入財源は、前年度より町税・交付税収入等が増額となり、新型コロナウイルススワクチン感染症対応地方創生臨時交付金として活用した負担金補助金、地方創生拠点整備交付金等の財源を活用したことにより、施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、これまでも実施しているように、国・県補助金・基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が伺え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に努められたことが確認できる。

○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められた。

国民健康保険事業については、国保加入者数、国保税収入が減と

なったものの、保険者努力支援金の獲得等により、順調に業務が遂行出来ていることを確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行出来ていることが確認できる。

公共下水道事業や農業集落排水事業についても、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想されることから、処理施設の最適整備構想化計画に基づき、効率的な整備に努めていただきたい。

今後の行財政運営に当たっては、より効果的かつ効率的な実施に努め、多様化している住民ニーズや社会情勢に順応した事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

水道事業では、例年にない特別事項として、物価高騰への緊急対策の一つとして、上下水道7・8月の基本料金無料化があげられる。今後は、各設備が老朽化している様子が伺えることから、大規模な災害にも耐えられるよう、浄水設備の更新や耐震化を進め、安心・安全に利用できる水道水の安定供給を図られるよう要望する。

令和4年度 各種会計決算状況

一般会計

歳入

町税	37億3,422万3,781円
地方譲与税	1億3,128万5,000円
利子割交付金	102万7,000円
配当割交付金	1,498万2,000円
株式等譲渡所得割交付金	1,187万9,000円
法人事業税交付金	6,196万6,000円
地方消費税交付金	6億686万4,000円
ゴルフ場利用税交付金	294万4,900円
環境性能割交付金	1,276万2,000円
地方特例交付金	4,533万2,000円
地方交付税	18億9,428万5,000円
交通安全対策特別交付金	266万8,000円
分担金及び負担金	2億2,670万8,160円
使用料及び手数料	2,699万728円
国庫支出金	33億441万9,820円
県支出金	7億9,120万3,050円
財産収入	3,321万8,791円
寄付金	61億2,373万150円
繰入金	61億7,412万3,784円
繰越金	13億4,485万812円
諸収入	1億3,667万6,575円
町債	12億3,963万2,000円
計	259億2,177万2,551円

歳出

議会費	1億141万1,567円
総務費	80億1,827万3,537円
民生費	36億4,174万5,190円
衛生費	12億2,163万7,753円
労働費	2,316万3,004円
農林水産業費	4億3,259万2,554円
商工費	2億4,524万7,638円
土木費	16億2,843万3,390円
消防費	6億6,288万4,496円
教育費	14億2,345万5,256円
災害復旧費	0円
公債費	9億7,854万8,945円
諸支支出金	63億7,294万1,455円
予備費	0円
計	247億5,033万4,785円

特別会計

坂東市外2か町公平委員会

歳入	95万8,457円
歳出	20万5,045円

住宅事業

歳入	3億8,410万9,065円
歳出	3億4,246万7,829円

国民健康保険事業

歳入	26億8,244万5,702円
歳出	26億5,962万3,142円

後期高齢者医療事業

歳入	5億4,851万9,078円
歳出	5億4,325万4,597円

介護保険事業

歳入	20億9,698万8,947円
歳出	19億8,556万3,633円

公共下水道事業

歳入	7億6,861万1,632円
歳出	7億4,989万1,056円

農業集落排水事業

歳入	2億7,353万536円
歳出	2億3,907万4,826円

水道事業

収益の支出	5億5,238万9,814円
資本の支出	6,983万9,342円

補正予算関係

令和5年度境町各種会計補正予算

会 計		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(承認第15号)		172億2,913万円	900万円	172億3,813万円
一般会計(承認第16号)		172億3,813万円	2億円	174億3,813万円
一般会計(議案第53号)		174億3,813万円	69億2,920万円	243億6,733万円
一般会計(議案第62号)		243億6,733万円	1億9,455万円	245億6,188万円
特別会計	住宅事業(議案第54号)	5億4,882万円	664万円	5億5,547万円
	国民健康保険事業(議案第55号)	28億4,687万円	211万円	28億4,898万円
	介護保険事業(議案第56号)	19億5,666万円	1億1,142万円	20億6,808万円
	公共下水道事業(議案第57号)	8億9,206万円	△933万円	8億8,273万円
	農業集落排水事業(議案第58号)	2億4,522万円	424万円	2億4,946万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
報告第7号	令和4年度境町財政健全化判断比率の報告について	—
報告第8号	令和4年度境町公営企業資金不足比率の報告について	—
承認第14号	専決処分の承認を求めることについて (境町まちづくり基金条例の制定について)	R5.9.4 即日原案承認
認定第1号	令和4年度境町一般会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第2号	令和4年度坂東市外2か町公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第3号	令和4年度境町住宅事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第4号	令和4年度境町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第5号	令和4年度境町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第6号	令和4年度境町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第7号	令和4年度境町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第8号	令和4年度境町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	R5.9.8 原案認定
認定第9号	令和4年度境町水道事業会計決算の認定について	R5.9.8 原案認定
議案第52号	境町印鑑条例の一部を改正する条例案について	R5.9.8 原案可決

議案 第59号	財産の取得について 境町大字西泉田地内 10筆	R 5 . 9 . 4 即日原案可決
議案 第60号	財産の取得について 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字小谷ヶ沢地内 2筆 及び建物	R 5 . 9 . 4 即日原案可決
議案 第61号	町道路線の認定について 境町字下田地内 町道7046号線	R 5 . 9 . 8 原案可決
同意 第3号	境町監査委員の選任につき同意を求めることについて 山本 隆行 氏	R 5 . 9 . 4 即日原案同意
請願 第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	R 5 . 9 . 8 採 択
発議 第3号	境町議会決算特別委員会の設置について	R 5 . 9 . 4 即日原案可決
発委 第1号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書案	R 5 . 9 . 8 即日原案可決

一 般 質 問

1番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1) 带状疱疹ワクチンについて
- (2) 視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について

2番 議席2番 染谷 直人 議員

- (1) スポーツを核としたまちづくりの展望について
- (2) 英語教育について

- (3) 公共交通の充実について
- (4) 境町モデルと収入増加策について

3番 議席3番 枝 史子 議員

- (1) 学校図書館の充実について

3人の議員が登壇しました

带状疱疹ワクチンにつきましては、ワクチンを接種することにより、病気に対する免疫力が高められ、発症や重症化を抑えることができることから、予防接種の意義は大きいと考えております。

② 公費助成制度導入の状況
带状疱疹ワクチンの公費助成制度を導入している自治体は、現在全国で254の自治体で導入されており、県内では、令和5年度よ

A ① 予防接種の意義
带状疱疹ワクチンにつきましては、発症しても軽症、後遺症の予防にもつながるとされており、他の自治体も助成導入の動きが広がっているが、当町の考えについて伺いたい。

带状疱疹ワクチンについて



議席10番

田山 文雄 議員

り、石岡市、小美玉市、筑西市、美浦村が助成を開始し、全国的にも制度を導入する自治体が増えてきております。

③ 国の状況及び町の方針
現在、厚生労働省所管の「厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針ワクチン評価に関する小委員会」において、予防接種法に基づいて行う定期予防接種として追加を検討するワクチンの1つとして、その安全性や医療経済学的評価等についての検証、評価を進められておりますが、全国的にも带状疱疹ワクチンに対する公費助成制度を導入している自治体も増えてきていることから、本町におきましても、今後、国や県、近隣市町村の動向に注視しながら、制度の導入について、検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いを申し上げます。

(町民生活部長)

視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について

Q 視覚障がい者の情報取得サポートとして、紙媒体に掲載された印刷情報を、「音声コード」を利用して公的な通知などを行っている自治体もあるが、当町の考えを伺いたい。

A ①音声コードとは

「音声コード」とは、紙面の文書「印刷情報」を、音声に変換するものです。文字数800字程度の情報を変換する事が可能で、音声を読み上げ、情報を売る事ができます。

②補助制度

一般的な「音声コード」としては、専用の読み上げ装置が必要な「SPコード」がございます。こちらは、障害者総合支援法の地域生活支援事業において、情報・意思疎通支援用具として読み上げ装置購入の補助制度がございませす。課税世帯は自己負担1割、非課税世帯は自己負担無しで購入する事ができます。境町での交付実績は今のところありません。

③ユニボイスについて

近年、音声コードの専用の読み上げ装置が不要な、スマートフォ

ンアプリで対応可能な「音声コード」、「ユニボイス(UniVoice)コード」が開発されておりませす。

この「ユニボイスコード」は、NPO法人日本視覚障がい情報普及支援協会が開発・管理している専用ソフトで作成し、スマートフォン等のアプリで読み上げることが出来ませす。文書(文字)を、スマホのアプリから読み取り(QRコードのようなもの)、音声に変換(読み上げる)するものです。専用ソフトのライセンスに関しては、自治体に対しては無料貸与しているとの事ませす。

茨城県障害福祉課によると、県内の利用実績は茨城県、水戸市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、牛久市、阿見町、日立市、古河市の9自治体となっております。本年度に導入済の古河市に確認したところ、市の障害福祉課では、視覚に障害がある方にユニボイスコードを印刷した会議の案内通知を出した実績があるとのことませすので、さらに先行する市町村の状況を調査するなどして、研究してまいりたいと考えておりませす。

(福祉部長)

議席2番

染谷 直人 議員



スポーツを核としたまちづくりの展望について

Q スポーツを核としたまちづくりで、境町はどのような活性化をするのか、当町の考えを伺いたい。

A 当町では、オリンピックレガシーとして、ホッケー場やアーバンスポーツパーク等を整備し、それらを用いた交流人口の拡大に力を入れています。BMX、インラインスケート等のスペシャリストを「地域おこし協力隊」として雇用しており、安床隊員(インラインスケート)等のトップアスリートが多く居住することで、これらのスポーツが地域に根付くとともに、ロサンゼルスオリンピックには境町出身の選手が出ることを目標にしており、町民の誇りや幸福度の増加にもつながると考えませす。

実際にオリンピック強化選手の移住も増えてきておりませす。また、町の全年齢対象の各スポーツ施設の体験会や学校のクラブ活動、部活の地域移行など、スポーツを核としたまちづくりを町全体に広げてまいりたいと考えておりませす。

(企画部長)

英語教育について

Q 英語教育のこれまでの取組みと効果について、当町の考えを伺いたい。

A スーパーグローバルスクール業として、ALT24名を町独自で配置し、先進的英語教育を実施。また、英語検定補助事業として小6・中3全員を対象に検定料の全額補助を行っており、中3の英検3級保有率は44・7%と導入前の5倍に増加。また、姉妹都市ホノルル市に姉妹小学校・中学校を設置し、英語での子供たちの交流の機会を提供。また、SGS事業の効果もあり、当町への英語教育を目的として移住も多くなっています。このことから、6年経ち、SGS事業の効果が数値でもあらわれておりませす。

(教育次長)

公共交通の充実について

Q 自動運転バスなど、境二中学区の公共交通の充実について、当町の考えを伺いたい。

A 町長就任以降、「誰もが生活の足に困らない町」を目指し、全国初となる町中心部での自動運転バスの運行や、東京駅や成田空港行き的高速バスの運行が実現。境二中学区については、現状、「交通空白地域」となっており、高齢者や子育て世代による塾や部活動の送り迎え等の移動の課題を解決すべく、今年度、国交省「共創モデル実証プロジェクト」に採択となりました。現在、ワゴン車を3台活用したオンデマンド車両を導入し、病院の送迎や、部活の送迎など、きめ細やかな公共交通事業を実施する予定です。

(企画部長)

境町モデルと収入増加策について

Q 町長就任後の境町モデルの収入並びにふるさと納税、企業版ふるさと納税等の各寄付額および獲得した補助金の総額について、実績を伺いたい。

A 橋本町長就任時の平成25年度の境町の財政状況については、将来負担比率や実質公債費比率は北関東104市町村中ワースト1位であり、当時の財政シミュレーションでは、5年後には基金が底をつき、町の財政は破綻するという危機的な状況でした。現在の境町モデルを始めとした取組み等により、財政健全化が進み、将来負担比率もワースト1位から脱却。現在、境町モデルでの投資効果により、令和4年度決算額は9千万円の収入、町長就任以降のふるさと納税の総額は285億円、企業版ふるさと納税の総額は20億円、地方創生拠点整備交付金等の主な獲得した補助金の総額は93億円と大きな収入増となっております。

(企画部長)

議席3番

枝 史子 議員



学校図書館の充実について

Q 学校図書館支援員の勤務状況と配置について

A 当町では、学校図書館の日常の運営管理や、学校図書館を活用した教育活動の支援をおこなう職員として、3名の「学校図書館支援員」を任命しております。そして、それぞれが2〜3校を兼務し、町内全7小中学校に週1〜3日の割合で勤務しております。文部科学省第6次学校図書館整備等5か年計画では、学校図書館支援員の各校1名の配置を目指す目標が示されていることから、当町もその体制づくりに努めてまいります。

(教育次長)

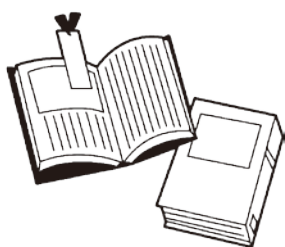
図書購入費について

A 図書購入費につきましては、毎年各小学校に25万円、各中学校には35万円を計上しております。さらに、JRAより1校10万円、年間70万円のご寄附をいただいております、こちらも合わせて活用しております。

文部科学省が定める基準から見ますと、当町小学校の蔵書数は満たされているものの、中学校については達していない状況なので、継続的な図書購入費予算を確保するとともに、標準冊数に近づけるように努めてまいります。

町としては、読書の重要性を認識しており、予算増額も可能ですので、学校図書館支援員さんからの要望等をまとめ、伝えていただきたいと考えております。

(町長・教育次長)



令和5年第2回臨時会

7月25日（1日間の会期）

補正予算関係

会計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第50号)	153億607万円	19億2,306万円	172億2,913万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
議案 第51号	事業契約の締結について	R5.7.25 即日原案可決



境町消防団第7分団への消防ポンプ自動車納車式

9月7日、消防ポンプ自動車納車式が執り行われました。今まで使用していた消防自動車は、平成6年から28年が経過し老朽化が進んだため、町から消防団第7分団へ寄贈されました。今後、地域の防災のために活躍されることを期待しております。

消防ポンプ自動車納車式

議会活動



沖縄県国頭村議会町長表敬訪問

10月3日、鳥取県岩美町議会総務教育常任委員会、並びに産業福祉常任委員会が視察研修に来町され、また10月11日には、沖縄県国頭村議会が視察研修に来町されました。境町とそれぞれの議会との友好交流として懇談会を実施し、意見交換を行いました。議会といたしましても、今後更に両町村発展に向け、連携を深めてまいります。

鳥取県岩美町議会、 沖縄県国頭村議会視察受入

編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 染谷 直人 委員 飯田 進

副委員長 佐怒賀康輔 委員 岩崎 博

〒306-0495 境町391-1
TEL 0280-81-1316 FAX 0280-87-5873
<http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>